

高雄・気良

地歌舞伎

かわら版

参号

高雄歌舞伎・気良歌舞伎の祭礼公演迫る!

郡上の秋は地歌舞伎シーズン! いよいよ気良歌舞伎、高雄歌舞伎それぞれの公演が迫ってきました。今年度の気良歌舞伎は「菅原伝授手習鑑 寺子屋」。奥村前座長が久しぶりに主役・松王丸で出演。ベテラン勢が脇をかためて不朽の名作に挑みます。また、今回は郡上市の日置市長が特別出演! さらに明宝小学校12名の児童と、先生方との共演もします!

高雄歌舞伎は青年部が青砥稿花紅彩画(通称「白浪五人男」)の「浜松屋見世先の場」を、続いて小学生が「稲瀬川勢揃いの場」を演じます。通しでご観覧いただくことでより一層楽しんでいただきたいと思います。

そして、一幕目は子ども達による時代物の名作「二谷嫩軍記 熊谷陣屋」。大人でも演じるのが非常に難しい幕ですが、高雄歌舞伎の子ども達は練習を重ね、素晴らしい仕上がりに。最後に「傾城阿波鳴門 どんどろ大師門前の場」。高雄歌舞伎では十四年ぶりとなる演目に若手・子役が挑戦いたします。

両公演とも地域一体となって取り組んでおります。地域の方はもちろん、地域外の方でも観覧いただくことができます。大勢の方のご来場をお待ちしております!

●日時 平成28年9月17日(土) 18時半開演
●場所 明宝コミュニティセンター
●演目 ①磨墨太鼓 ②カラオケ ③菅原伝授手習鑑 寺子屋

●日時 平成28年10月1日(土) 18時開演
●場所 口明方小学校体育館
●演目 ①青砥稿花紅彩画 ②稲瀬川勢揃いの場 ③二谷嫩軍記 熊谷陣屋 ④どんどろ大師門前の場

※両公演とも入場料は定めておりませんが、皆さまからのご祝儀、お志しにて支えられております。ご支援していただければ会場受付にお越しただければ幸いです。

飛騨・美濃歌舞伎大会いびがわ2016に高雄歌舞伎出演!

8月20日(土)、揖斐川町にて行われた第二四回飛騨・美濃歌舞伎大会いびがわ2016に高雄歌舞伎保存会が出演「傾城阿波鳴門 どんどろ大師門前の場」を演じました。ベ

テラン勢の奮闘、子役の熱演があり大変盛り上がりしました。



「気良歌舞伎展」リニューアル!

今年四月から明宝歴史民俗資料館講堂にて開催しております気良歌舞伎展を大幅にリニューアル。舞台を新たに増設、舞台幕も設置して、芝居小屋の雰囲気近づけるように工夫しています。

また、展示期間も11月まで延長します。リニューアル後の8月2日には明宝公民館の主催で「博物館」デザイン学習会が開催され、参加者に気良歌舞伎展の良い点や改善点をいただきました。今後の展示に活かしていきます。

さらに、9月2日(金)には気良歌舞伎主催で「なるほど! 歌舞伎の解説講座」を開催。今年の演目「寺子屋」のあらすじや登場人物の気持ち、演じ手側の工夫などを解説。また、増設された舞台を使って公開稽古を行いました。

地歌舞伎コラム

見どころ!

●浜松屋見世先の場
武家の娘とその郎党に化けた弁天小僧菊之助、南郷力丸の両人は、呉服店の浜松屋に乗り込む。店中で、わざと万引きを疑わされて店の者から叩きのめされる。しかし、番頭が調べる、別の店で買った証拠が出てきて万引きが間違いであったことがわかる。詫びる主人に南郷が因縁をつけ、百両をせしめて店から帰ろうとすると、奥から侍が現れ、弁天小僧を男だと思破る。正体がばれた弁天と南郷は居直つて、結局、二十両の金をせびつただけで帰ってゆく。しかし、実は奥から現れた侍こそが、五人男の首領・日本駄右衛門。後日、一味で押し入るため、浜松屋に恩を売る大芝居だったのである。

●寺子屋
寺子屋を開いている武部源蔵は、菅丞相(菅原道真)の子・菅秀才を我が子として匿っている。そこへ菅丞相と敵対する藤原時平の家来である春藤玄蕃と松王丸がやってきて、菅秀才の首を差し出せと迫る。逃れる術のない源蔵は、その日、寺子屋にやってきた小太郎という子の首を討って差し出す。菅秀才の顔を知っているはずの松王丸だったが、なぜか小太郎の首を菅秀才の首だと断言し、玄蕃はその首を持ち帰る。実は、この小太郎こそ松王丸夫婦の二子であり、菅秀才の命を救うための身替りとして松王丸が差し出したのであった。

●生死をかけた緊迫の「首実検と小太郎を悼む」は送り
舞台は大坂のどんどろ大師の門前。阿波の十郎兵衛は、殿様の家宝の宝を紛失したことから追われる身となり、幼子のおつるを残し、妻のお弓とともに国を離れて貧しい浪人暮らしをしている。そんな

折、お弓は父母を訪ね歩いて遠く阿波から巡礼の旅を続けている我が子おつると再会をする。しかし、自分は追われる身。我が子に災難がふりかかるとおそれて母と名乗ることができない。おつるはお弓が母であることを察してなんでもするからそばに置いてほしいと泣きすが、



お弓とおつる

お弓はおつるを抱きしめるも、やはり母とは名乗ることができないのであった。
●健気なおつると我が子を思うが故のお弓の苦悩

青年歌舞伎公演のご案内

11月20日(日)
高雄・気良青年歌舞伎合同公演
場所: 郡上市文化センター / 13:00開演
演目:
青砥稿花紅彩画 浜松屋見世先の場(高雄)
菅原伝授手習鑑 寺子屋(気良)
傾城阿波鳴門 どんどろ大師門前の場(高雄)

編集後記

いよいよ、秋の祭礼公演が迫ってまいりました。気良歌舞伎では歌舞伎稽古に加え、神楽の練習も始まり、週六日が練習という忙しい季節となりました。今年度の公演は日置市長にも特別出演していただくなど見ごころ満載! また、高雄・気良それぞれ日中には祭礼がおこなわれますので、歌舞伎観覧と併せて楽しんでいただくことができます。次号では各祭礼公演の様などをお伝えいたしますのでお楽しみに!

写真※26年気良歌舞伎 白浪五人男 弁天小僧菊之助



高雄・気良 地歌舞伎かわら版

参号(平成28年9月号)
発行 高雄・気良青年歌舞伎実行委員会
問合せ 気良歌舞伎事務局 kerakabuki@gmail.com
Facebook
明宝振興事務所 (0575) 87-2211
明宝公民館 (0575) 87-2016